事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　９月 19 日（　13：30　～　14：30　）
１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	５人	人	人	７人

前回の改善計画
・初期支援の関わり方で安心して頂ける関係作りをするための方法として、「今は〇〇できればいいのかなと考え、私たちは△△させて頂いています。どうでしょうか？」とご本人やご家族へ具体的に問いかけ、ケアサービス提供の方向性の確認をその都度とっていくように心がける ・スタッフによる情報の共有がご利用者、ご家族の安心感、信頼ある関係づくりのためには必須であると考え、大切な取り組みとして今後も継続して行っていく
前回の改善計画に対する取組み結果
●不安な初期支援では安心して過ごせるよう顔見知りの方や気の合いそうな方等のテーブル配慮等も行なった。またご本人の生活・性格に沿ったケアが出来るように、ご家族やご本人からの要望等や不安要素を把握して、ケアの方向性を決めていくようにしている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	5			7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	5			7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2	3	2		7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	4	1		7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ｹｱﾏﾈｰｼﾞｬｰより細やかな情報提供を適宜受ける事ができｹｱの方向性を明確にし統一した対応を実践できた ・特にご家族の想い、願いを深く知ることができる様になってきており、地域での生活を維持・継続していくための心理的支援につなげることができているように思われる ・スタッフ全員がまだ関わりを持つことができない初期導入時には利用者様のご様子や“こうすれば安心して頂けた”という成功体験としての関わりが特記に挙がるようになっておりスタッフも関係性作りに安心して関われる工夫ができるようになってきている＝利用者様の安心感 ・利用者様の様子をみながらスタッフ間で意見を出し合ってその都度関わり方を考えながら接している ・利用開始に伴い具体的な問いかけや提案を通しご本人様ご家族様のニーズの引き出しや関係作りができた ・利用前に実際に施設内を見学し、行事等の写真を見て頂き、こころ庵での過ごし方がｲﾒｰｼﾞして頂けた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者様がまだ施設の利用に慣れていない時期に他の慣れているご利用者と同様の接し方をしてしまった ・気にかけるようにはしているが声かけなどの気遣いが少し足りていなかった時がある ・ご利用者にとって最善と思われる対策等が必ずしもご利用者様自身、納得、理解して頂けないこともある	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・ご利用者、ご家族にとって何が最善であるかをスタッフ間でその都度検討していき、初期支援の関わりで安心して頂けるようご本人に変わったことがあれば特記に挙げ、申し送りで話しチームで情報を共有し改善するよう心がける。また利用開始から間もない方は特に声かけに気を遣っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　９月 19 日（　13：30　～　14：30　）
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	６人	人	人	７人

前回の改善計画

・“〇〇できない”、“私より年上の人が頑張っているのに…”という言葉は『人の役に立ちたい』という思いの表れとして捉え、できる事やできそうな事をみつけ“～したい”の実現につなげる。また、“〇〇できた”という達成感を感じて頂く事で日々の活動性の UP を目指していく

前回の改善計画に対する取組み結果

●出来そうな事をチーム全体で考え見つけていき、一緒に家事や作業を行い、感謝の言葉を伝え、その方の自信につながるように関わっていった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		6	1		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	5	1		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	5	1		7
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1	6			7

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・超高齢社会の現代において･･･“穏やかに人生の週末を過ごし人生を閉じていく”ことも限りある命を生きる人間の最終的には向き合わなければならない人生課題…自己実現の最終到達目標であると考える。看取りケア実践を積み重ねてきた当施設においては…その目標も含め視野を広げた『自己実現の尊重』するための多様性あるケアの取り組みに臨む意識を培うことができているように感じている
・活動と安息、休息、安楽のバランスをアセスメントしながら高齢者の身体的、生理的変化を捉えた心理的支援の実践に取り組めてきているように感じる
・利用者様のやりたいことやできそうな事なら利用者様に応じて見守りながら実行して頂いている
・できる事、できない事、できそうな事を日々の関わりの中から見極め手を出しすぎないｹｱを心掛けている
・併設の医療機関との連携を活かし、情報を共有しご本人の“～したい”の気持ちを汲みとるようにした
・ご利用者にとって“～したい”気持ちを察しながら可能な限りその気持ちを汲み取るようにしている
・例えば食器拭きをしたいと動かれる方もおられましたので見守りをしながらご本人の“～したい”という気持ちに寄り添うようにした

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・やりたい事が皆様同じではないので各ご利用者同士の兼ね合いが難しく感じる事もある
・会話が難しい方の“～したい”に気付いてあげにくい
・できないと思い込んでいる時があり、できるにはどうしたら良いか考えることをあきらめている時がある

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・自分に自信が持てず消極的な方ができたときは少し大袈裟なぐらいに一緒に喜ぶようにしていき、気持ちが上向きになり自己肯定感を強め、自己実現へのきっかけになれるようなケアを実践していく
・成功だけではなく失敗体験もﾁｰﾑで共有しｹｱに活かしていき、どうすれば出来るのかを考えていく

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　９月 19 日（　13：30　～　14：30　）
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	５人	人	人	７人

前回の改善計画
・本人の目線になり視線や行動やしぐさを注意して見ていき、気持ちや体調を考え、安全・安楽なケア提供を各職員が常に意識すると共に、本人の状況に合わせた安全はチームで保障しようとする意識を持つ
前回の改善計画に対する取組み結果
●各ご利用者の年齢や疾患等を考え、集団の中で個別ケアも可能となるよう、それぞれに対応できるよう業務時間や担当職員を配置し、出来得る限り安全かつご本人の状況に合わせたケアを行ってきた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	1	3	3		7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	5			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	4	1		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	3			7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	6			7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・超高齢な利用者様、認知症を抱える利用者様の声にして訴えることのできない体調変化を理解し、ケアに反映するためには広く深い実践に伴う経験値が必要とされ、実践現場の技術力は一段と高度なレベルが求められるようになってきている。細やかな情報共有を基盤としたチーム力でご利用者様の日常生活を安全安楽快適に支えられるように取り組むように努めることができていると思われる。（※細やかな情報共有：情報共有の基盤は特記事項に都度記載し、その情報はさらに実践ツールにスライドするように細かくコメント付きテーピングを付けるようにしている　例：食札、薬杯コップ、入浴表、車いす等）
・こころ庵が直接関われない時間の出来事も他関係者やご家族様より情報を頂き最善のｹｱが提供できている
・本人の顔色などを観察しながら体調面の変わりがないか気にかけている
・食事の介助の難しい方に無理に食べさせようとせず声かけを工夫し、ご家族に食事量を伝え摂取量が少ない時はご家族の方にも協力してもらい安楽なケアの提供になるよう心がけた
・レクリエーションを通じてご本人様の昔の話を聞いて以前の暮らしを把握するようにした

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・対応が決まっていても自分自身が体験していない事だとすぐには対応できにくいことがある
・ご利用者の人数が多い時は、一人一人細部までの変化は見過ごしていた面もある
・情報量が多いと時々正しく理解できないことがある

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・各スタッフがご利用者様の動きや行動を意識し見守ると共に周囲の安全を確認しつつ本人の状況に合わせたケア提供を行っていく。また専門的なことであってもできるだけ簡潔にわかりやすく伝達し、チーム全体が共通理解した上ケアができるよう取り組んでいく

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　９月 19 日（　13：30　～　14：30　）
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	５人	人	人	７人

前回の改善計画
・地域と共存しご家族と暮らしていくためにも、ご家族が介護疲労を抱え込まないようにフォローしながらも介護に伴走していただけるよう、泊り（夜間のご様子）通い（日中の過ごし方）の利用時を活かしたケアアセスメントを行い、できるだけ家族の立場に立った対応方法を見い出し、ご家族にアドバイスできる機会を設け支援を行っていく
前回の改善計画に対する取組み結果
●対応の難しいご利用者や看取りケア等の介護疲労の強いご家族の助けとなるべく、一緒にケアを実践していっている実感が持って頂けるようにご家族との連携を強化した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	3	3		7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	5			7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	2	3		7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	2	3	1	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ＣＭによる情報の共有が施設の実際のケアとご家族の介護力が連動できるようになっていると思う（施設で実践したケア方法を伝えながら家庭ではどのように介護されているかを受けとめながら家族の方が実践しやすい家庭内での介護方法をアドバイスできている） ・自宅⇔施設の送迎にも移動介助に高いレベルを求められる利用者様も増えておられ都度、様々な試行錯誤を行いながら安全な送迎に取り組みご家族の現在の社会生活も維持出来るように取り組んでいる ・利用者様の様子を伺いその方に合う場所や人々と関わることができるように誘導させて頂く ・ケアの中で良い反応が得られた時は自宅での介護に活かして頂けるようご家族様にお伝えしている ・Ｐトイレ使用の提案や貸し出しを行い自宅での介護が少しでも楽になるように努めた ・ご家族様の自宅での介護を支える＝ご利用者様の在宅生活を支える　という事を十分に理解し、通い、泊り、訪問にてご家族の不安、負担の軽減に努めている ・送迎時にご家族にこれまでの生活スタイルをお伺いするよう心がけた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご家族が望まれるような対応がまだ十分に取れていないと感じる事がある ・まだ利用者様の日常生活（過去も含めて）の全体像が理解できていない面もある ・ご利用者様の居住地域の社会資源等を把握できていない ・ご本人のこれまでの生活スタイルがまだ十分把握できていない	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・ご家族とご本人ができる限り長く地域とご自宅での生活を継続できるように、ご自宅での様子や困っている事などがないか等をお聴きし、その情報をもとに実際にご自宅にお伺いもして、室内環境やケアの方法を提案し、可能な限り在宅生活を支える支援方法を探っていく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　９月 19 日（　13：30　～　14：30　）
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	５人	１人	人	７人

前回の改善計画
・利用者個人個人のサービス内容、特記事項を何度も確認、把握し不適切な対応をしないように努める ・身体の変化に気づく事が出来るように普段から注意深く状態を観察していき、その変化をチームで共有できるよう個別特記事項やミーティングで発信していく
前回の改善計画に対する取組み結果
●チームでの情報共有が円滑にいくように、特記事項を活用し、複雑な対応は一覧表を作成しケアにあたっている。また身体の変化に気付きその気付きを発信しつつ、これからの生活の組み立てを行い、多機能性サービスの中での必要な支援を柔軟に考え実践している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	4	2		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	4			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2	5			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	4			7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・泊り利用がご家族のニーズや緊急時にも柔軟に調整されていると思う ・徘徊が生じた時の即時的な通い利用導入等、多機能性あるマネジメントがしっかりと出来ていると思う ・利用者様に変化が見られればその時の利用者様に合う対応が出来るよう、意見を出し合い少しずつ対応に変化をつけている ・通い、泊り、訪問のサービスの限られた枠が上手く調整されニーズに沿ったサービス提供ができている ・普段からご家族様としっかりと関わり合い信頼関係が築けており緊急時の泊りの変更など快く引き受けて頂いている ・特記事項に記入するという事が定着し、その情報をもとに適切なケアの検討などが行われている ・本人の状態で気が付いた事は特記事項にて情報共有し、周りのスタッフに報告、相談が出来ている ・夜勤時に特記事項を再度確認して適切な対応ができるように努めた ・変わったことがあれば申し送りや記入をして情報を共有するように心がけた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日々、何人もの利用者に対する関わり方が変化し十分に把握しきれていない事もある ・新しい情報と古い情報の整理がつかず対応が不適切になる事もあった ・地域資源が十分に把握できておらず勉強不足を感じる事もある	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・各利用者の細かい変化に応じた対応方法をケアする場面で確認し、正確に実践できるようなツールを掲示している。複雑な対応が必要な方は最新の情報を元に適切なサービスができるよう、各スタッフが気付きの意識を持ち、変化に伴い対応ツールを常時更新していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　９月 19 日（　13：30　～　14：30　）
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	５人	１人	１人	７人

前回の改善計画
・市の広報や新聞にイベントが載っていることがあるので、どのようなイベントがあるのかを把握し行事にできるかな？という目で記事を読んでいく ・法人内での医療連携（精神科・内科・整形外科・認知症デイケア・訪看・薬剤師等）を活用し、介護と医療の協働ケアで切れ目のない一貫したサービス提供を行い、素早く質のいいケアを提供していく
前回の改善計画に対する取組み結果
●法人内連携での医療連携は速やかにできている ●コロナ感染拡大防止を優先した対応を行い、外出は出来ないけど日々の楽しみを増やす努力を行ってきた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	4	1		7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		5	2		7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			2	5	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			2	5	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・1 日 24 時間の生活を支える部署としてご利用者様の生活が快適に安楽にサポートできる医療介入となるような情報提供を他部署と共有するように努めている ・変化があった時は上司や看護師に報告しそこから他部署や医師に連絡して下さり連携が取れている ・会議等はコロナ対策により行われていない若しくは参加を控えているが、電話や書面でのやり取りで情報共有を行っている ・町内会の広報誌や回覧板を毎回目を通して役立ちそうな情報がないか探している ・スタッフや法人の職員が会議、イベントに参加して内容を報告してくれる ・皮膚科医、泌尿器科医、歯科医の往診等、ご利用者の状態に応じて様々な医療機関とも連携を取っている ・薬局との連携にて、薬剤師さんに専門的なアドバイスを頂きながら、適切な薬剤管理が出来ている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍ということもあり市、町内会のイベントが今年は殆ど中止や延期で外出や参加ができていない ・コロナ感染拡大防止のため、施設の地域の交流イベントの祭りが中止となった ・コロナ感染拡大防止のため、地域の交流（サロン）に参加できていない	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・コロナ対策によりイベントの中止や参加を見合わせているが、季節や尾道ならではの風習などを感じていただけるような室内での行事を考え、施設内にいてもイベントを楽しめる方法を考え実施していく ・今は感染拡大防止に努め、ご利用者の安全と命をお守りしていく。その先にある明るい未来のために、事業所として日々出来得る対策を行っていく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　９月 19 日（　13：30　～　14：30　）
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	５人	人	人	７人

前回の改善計画
・気付きをすぐにチーム全体に伝える意識を持ち申し送りの時間を有効活用し意見交換を行っていく。出来ない場合は特記事項や申し送り簿・メモ等に残して情報が速やかに運営に反映されるようにしていく。 ・サロンなど地域の方とも交流できる場所に外出した時に、参加されている地域の方々と意見交換ができるよう関わっていく
前回の改善計画に対する取組み結果
●コロナでの新しい生活様式での運営の難しさや認知症ご利用者の感染予防の難しさを日々実感しているが、出来得る事を出来得る形で実践してきた。また持ち込まない努力を職員・法人全体で行っている ●チームの各々から出る意見を尊重しながら、でた意見を具体的にケア方法に取り入れ実践しながら、良いケア良い運営に繋がるよう取り組んでいる

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	3	2		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	5			7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	4	2		7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	5	1		7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・円滑な施設運営には利用者様とそのご家族の方々からの意見に迅速に対応する信頼性が基盤となるため常に業務改善に努めている。特に現在はコロナ対策の為、利用者様の物品・衣類管理等を施設で担っている。そのため必要、不要品の確認も含め正確な情報交換をスタッフ間でも確実に行わなければならない。季節の変化に伴う衣類や生活用品・寝具等の交換への配慮は実践できている ・何か変化や疑問に思うことがあれば周りのスタッフと話し合い意見の交換、共有ができている ・申し送り時などで職員同士、情報を共有して改善案や注意点が出てきている ・利用者様、ご家族様の意見や相談等があれば申し送り等で連絡、報告で反映している ・ご家族からの意見等が連絡帳に記入してあることがあるので、必ず確認して申し送りでチームに伝えるようにしている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・目の前の業務に追われ特記事項への記入が出来ていないことがある ・地域の方と接する機会が減っているため会話することが少なくなっている ・気づいたことや報告すべきことを忘れて伝えてないことがあった	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・利用者、家族・介護者からの意見等を特記事項へ記入し、チーム全体で情報共有を行い、適切な運営に繋げられるような取り組みを今後も継続していく。 ・事業所の取り組みを掲示板の写真や文書を通じて知って頂き、オンライン面会等も取り入れ、コロナ禍でもご覧いただけるツールを増やし、新しい生活での運営を考え実施していく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　９月 19 日（　13：30　～　14：30　）
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	４人	１人	人	７人

前回の改善計画
・ケア実践場面にポイントを提示する、学びを得た場面を例えば会議録の成功体験欄に挙げていく ・スタッフ相互がそれぞれのケアを学び合える意識作り、相互の長所、課題を補完し合えるチーム作り⇒相互に言葉で発信し合うことで理解を深めていく
前回の改善計画に対する取組み結果
●今年度も看取りの方が多く、今までの実践経験を活かしたケアを参考にし、実践する事ができた ●スタッフ相互の信頼関係や、思いやりと気遣い・認め合う声かけが出来ているからこそ、ご利用者ケアの質の向上にも繋がっていくため、相互の前向きかつ建設的な関係性の向上につとめている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	2	2		7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	3	1	7
③	地域連絡会に参加していますか		2	3	2	7
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	3	4			7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・相互に聴く姿勢を尊重しあえる関係性であればこそ培えるチーム作りに取り組めている ・成功体験、失敗体験があればスタッフ間ですぐに話し合い共有して次に活かしている ・職場内研修が定期的に行われておりチームとして質の向上に努めている ・日々の関わりを通し気になることは他スタッフや他部署と情報共有しご利用者様の安心安全に努めている ・研修等に参加された方が報告書をまとめてくれて回覧しているのでわかりやすい ・リスクマネジメントで、夜間センサーの音色でどのご利用者のものか把握し速やかな対応を心がけている ・夜間どの部屋に行くにもセンサー受信機を持って行き、他ご利用者への対応も迅速にできている ・夜間帯での対応を他の夜勤スタッフと日勤で会話した際に夜間の情報を交換しリスクマネジメントに努めている。また日勤帯での複雑な対応、変化の大きいケア方法を適切に実践できるよう、特にリスクマネジメントの必要な部分に関しては、特記事項を確認しながらケアの見直しと確認を行っている ・ヒヤリハットノートを活用し情報を共有するようにしている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者様のその時々の状態に合わせることが難しいことがある ・各ケアに適した丁度いい用具等を考える自分自身のスキルが足りていない事がある ・コロナ対策により外部の研修や試験の参加を見合わせている ・以前実践していたケアの方法がすぐに思い出すことができず指摘されてそうだったなと気づく事があった	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・忙しさの中にもｽﾀｯﾌ間で互いに補い合って余裕を持ち、情報ツールを上手に使いスキル UP を行っていく ・学んだことを忘れない様に、実践したケア記録（看取りやリスクマネジメント対応）を定期的に読み返しケアにあたっていく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　９月 19 日（　13：30　～　14：30　）
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	４人	１人	人	７人

前回の改善計画
・不適切なケアにならないような行動・声かけを心がけ、気持ちに余裕が持てるようにする ・落ち着いて冷静になってご利用者が不快にならない様な声かけを心がける。また注意喚起し合うことを非難ではなく意識の仕方を変え、スタッフ相互を守り合えるチーム作りに取り組む
前回の改善計画に対する取組み結果
●穏やかな関わりを実践して、不適切なケアにならないよう、良い面を探していき、ご利用者の何故?に冷静に対応できるよう、お互いの協力で気持ちに余裕が持てるように取り組んでいった。 ご利用者を守り、職員も守るため、冷静で安全なケアができるよう環境面の変更や工夫も行っていった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7				7
②	虐待は行われていない	7				7
③	プライバシーが守られている	4	3			7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	2		7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	2			7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・こころ庵スタッフ全体でご利用者の事を考え適した介護を行うことができている ・ご利用者様のこれまでの生活や今現在のスタイルを受け止め否定しない関りを心がけている ・ご利用者様に安心して頂けるように穏やかな心で声かけを行うようにしている ・利用者様の心情を考えて声かけに注意している ・言葉遣いに注意して身体に触れるときは声かけをしている ・ご利用者様の趣味、嗜好、好きなこと、嬉しいこと等を出来るだけ把握し楽しく過ごして頂いている ・足取りの悪い方が動こうとされる際に“座っててください”という言葉を使用しない様、なぜ利用者が動こうとされるのか気持ちを察して対応しスピーチロックにならないよう気をつけている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・余裕がない時は不適切な言葉使いになってしまうことがあり後悔をしてしまう ・不安や体が思うように動かない時などの不調の時に言葉が強くなってしまうことがある ・時々トイレ介助に入った時、プライバシーへの配慮が出来ていない事があった ・利用者様がやろうとしているのにできないだろうと思い手伝ってしまっていた	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・心に余裕を持って行動出来るよう、スタッフ同士声をかけ合いご利用者様のケア、業務にあたる ・プライバシー面を配慮してご利用者様が恥ずかしい思いをしない様に注意する意識を持つ ・できるやれると動かれているのでこちらが全部補助するのではなく難しい所を手伝うようなケアを行う	